

2024年3月修了生12名のコメント ～2年間の研修を振り返って～

●上杉莉璃(2022年 日本医科大卒)

N棟に病院見学をしに来た学生当時、済生会中央病院の研修医を初めて見た時に、その働きぶりに衝撃を受け、自分もこんな研修医になりたいと強く思ったことを今でも覚えています。あれから2年半、様々な経験を積み、初期研修を修了する身であることをとても感慨深く感じます。

当院での研修は、医師としての土台を築くために間もなく必要不可欠であり、済中で研修できて良かったと心から思います。

教育熱心な指導医の先生方、向上心の高い同期、頼もしい先輩、やる気に溢れる後輩、優しいコメディカルの方々に囲まれ、非常に有意義な2年間を送ることができました。事務の方々をはじめ、研修生活を支えてくださった全ての方々に、この場を借りて御礼を申し上げます。研修先に悩まれている方は、まずは見学にいらしてください。感じるものが必ずあると思います、お待ちしております！

●越田紗也子(2022年 慶応義塾大卒)

済生会中央病院での研修は、大変充実しておりあっという間でした。指導熱心な先生方やコメディカルの方々に学びの機会をたくさん与えていただきました。そして、勉強熱心な同期や後輩に囲まれ刺激を受けながら、モチベーションを保ち勉強を続けることができました。振り返ってみて、済生会中央病院は初期研修先として後悔のない病院だと思います。恵まれた環境で研修させていただき、感謝の気持ちで一杯です。

●近藤主都良(2022年 帝京大卒)

医師として最初の一步を初期研修医としてこの済生会中央病院で過ごせた事は、研修医としてそして一人の人間として大変豊かで学びの多い貴重な2年間でした。学生の頃から憧れていた当院で一つずつ出来る事が増え、そして何も知らない無知の闇の中からゆっくりと視野が広がって行く事を実感出来た時、改めて自身が恵まれている貴重な瞬間に身を置いている事をとても嬉しく思いました。知識と人情を兼ね備えた上級医の先生の背中を追い、いつしか後輩が出来、学びを得ながら理念を受け継ぐ経験は何事にも代え難い喜びです。そして何より患者様の「ありがとう」という言葉に自分自身が何度も救われました。4月からはまた当院で救急医として歩みを進んで参ります。「全ての人に最善の医療を」100年の歴史を持つ当院の理念をこれからの100年に続ける為に邁進していく所存です。

●雑賀由佳(2022年 東京女子医科大卒)

研修医2年の雑賀由佳です。この2年間、自分の不甲斐なさを痛感させられることが多く、辛いこともありましたが、同期や先生方に支えられて無事に研修を終えることができました。研修

医の期間は、自分が望む分だけ指導を受けられる貴重な時間です。やりたいことをいくらでも挑戦させてくれる済中の環境はとても恵まれていたと思います。そんな研修生活を送らせてくれたことに感謝していますし、もう一度研修先を選ぶとしても済中を選ぶと思います。ぜひ見学にいらしてください！

●四家慶太郎(2022年 群馬大卒)

初期研修病院での2年間は、医療の基礎を学び、臨床経験を積む貴重な時期でした。患者との接し方やチーム医療の重要性を身につけ、医学知識の幅を広げるとともに、人間性やコミュニケーション能力の向上に努めました。厳しい状況や困難な症例にも直面し、それを乗り越えることで成長しました。同僚や上司との協力や励ましもあり、自信を深めることができました。この経験は私の医師としての基盤を築く上で非常に貴重であり、今後のキャリアに大きな影響を与えるものと確信しています。

●篠原福助(2022年 慶応義塾大卒)

2年間とても恵まれた環境で研修することができました。医師として大事な姿勢を沢山の先生方に教えて頂きました。医療に真摯に向き合ってきた先輩方が、熱心にその知識や技術を後輩たちに伝えようとする文化は素晴らしく大変勉強になりました。忙しく大変な時期も確かにありましたが、初期研修の年間を済生会中央病院ですごせてよかったと思っています。2年間ありがとうございました。

●砂原壮大(2022年 順天堂大卒)

2年間の研修で多くのことを学びました。医師の知識、技術はもちろんですが、仕事に対する姿勢を何より学びました。N棟では担当医として責任ある立場で医療を実践することとなり、自分のした行為で患者さんに利も害も与えることの怖さや責任の重さを学びました。ただそういった中でも指導熱心な上級医の先生方や先輩が道を示してくださり、有意義な研修を行うことができました。2年間自分と関わった全ての人に感謝申し上げます。ありがとうございました。

●瀬古彩音(2022年 三重大卒)

初期研修がいよいよ終わろうとしています。研修医が居て、教えて、実践させることが当たり前前の当院の環境だからこそ、着実に成長できたと思います。2年間の研修の中で、優秀な同期、熱心な後輩、尊敬する先輩方と出会うことができました。自分にもまだまだ成長の余地を感じ、今後も努力していきたいと思っています。ぜひ見学に来て済中の良さを体感してください。

●高梨航輔(2022年 順天堂大卒)

研修医 2年目の高梨です。当院での研修を終えて思ったことは研修医の可能性を無限に伸ばす環境が揃っているということです。だからこそしっかり学び、忙しい時もありますが、研修医

として「こうしたい」「これをやってみたい」ということをサポートしてくれたり、学会など機会を与えてくださる先生がたくさんいます。設備も含め研修医として成長する十分な病院だと思えます。胸を張ってぜひ見学に来てくださいと言える病院です。皆様をお待ちしています。

●竹石潤平(2022 年 東北大卒)

最高な同期、指導医、後輩に恵まれながら2年間を過ごすことができ身に余る喜びを感じています。特に同期は、私にとって戦友であり、心の支えでありました。再会時には Grab a beer しましょう。当院で初期研修する機会を与えて頂きましたこと深く感謝しております。未熟な私ですが、青雲の志を持って日々精進して参ります。

●中井優作(2022 年 横浜市立大卒)

当院での2年間の研修もいよいよ終了となりました。2年間を振り返って思うことは、済生会中央病院は最高の研修環境であったということです。自主性を重んじる風潮、指導熱心な上級医どこをとっても良い研修病院でした。また、先輩、同期、後輩、お世話になった方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。2年間ありがとうございました。

●中野朋香(2022 年 慶応義塾大卒)

私は済生会中央病院での初期研修を経て、たくさんの経験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。右も左もわからなかった1年生の4月にN棟ローテーションでお世話になったチーフは特に印象的で、プレゼンの仕方からカルテの書き方、勉強から仕事に至るまでの多くを叩き込んでいただきました。大変だったことも多かったです。指導熱心な先生方に恵まれて、非常に充実した2年間を過ごすことができました。

この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。